

# 小児慢性腎疾患の予防と管理基準に関する研究

## — ま と め —

酒井 糾

北里大学病院 腎センター

予防と管理基準に関する研究班では、本年度手引書作成のための研究活動を主として行った。

検尿システム研究グループでは駿河台日大病院の竹中道子氏を中心にして全国各地でのシステムの比較検討結果に基づき基本的なガイドラインが示された。同時に神奈川県での四次精密検査での腎疾患発生率が調査された。国立岡山病院小児医療センターの滝正史氏は学校検尿で見出された児童生徒の事後管理の実態を調査し、その現状を明らかにすると共に、滝氏自身の事後管理指針(案)を提示した。国立特殊教育総合研究所の永峯博氏は腎疾患児の教育上の諸問題についてアンケート調査を行い、今回は特に家族との生活上の問題点について検討した。酒井氏は昭和52年3月に日本学校保健会が行っている学校保健センター的事業の中の腎疾患委員会(委員長:北川照男)によって作成された腎臓手帳の記載事項の一つである腎臓病の管理指導

区分およびその目安について新たな案を提示した。また横浜市小児アレルギーセンター長坂裕博氏は血尿症例の運動処方に関するアンケート調査を行いその実態を明らかにした。同時に国立療養所西別府病院の古瀬昭夫氏は前年度までに得られた各研究協力者のデータに基づいて慢性腎疾患児における運動負荷の影響を調べ本年度予定されている管理基準に関する手引書の中の原案の一部を提示した。

本研究班の研究協力者は総勢14名(表参照)であるが各々が各個研究を行うと共に検尿システム研究グループ及び腎疾患児童生徒の生活指導、運動処方の研究グループ、いづれかに属し研究協力を行った。

研究報告の3年分を統合かつ再整理を行い最終年度の研究事業報告の出版物として医師向け、家族向けのマニュアル作成を行った。

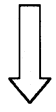
### 小児慢性腎疾患予防管理研究班

予防と管理基準に関する研究班 班長 酒井 糾(北里大学腎センター)

#### 研究協力者リスト

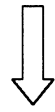
長坂裕博(横浜市立小児アレルギーセンター)  
堀井富士子(大阪府藤井寺保健所)  
小沢寛二(国立療養所新潟病院々長)  
竹中道子(日大駿河台病院輸血室)  
五十嵐すみ子(神奈川県予防医学協会)  
乾拓郎(国立療養所三重病院小児科)  
滝正史(国立岡山病院小児科)

黒田育子(国立療養所東松本病院)  
永峰博(国立特殊教育総合研究所)  
倉山英昭(国立療養所千葉東病院小児科)  
三吉野産治(国立療養所西別府病院々長)  
二宮誠(鹿児島大学医学部小児科)  
水野愛子(国立療養所中部病院)  
臼井信男(東京慈恵会医大小児科)



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



小児慢性腎疾患の予防と管理基準に関する研究

-まとめ-

酒井 紘

北里大学病院 腎センター

予防と管理基準に関する研究班では、本年度手引書作成のための研究活動を主として行った。検尿システム研究グループでは駿河台日大病院の竹中道子氏を中心にして全国各地でのシステムの比較検討結果に基づき基本的なガイドラインが示された。同時に神奈川県での四次精密検査での腎疾患発生率が調査された。国立岡山病院小児医療センターの滝正史氏は学校検尿で見出された児童生徒の事後管理の実態を調査し、その現状を明らかにすると共に、滝氏自身の事後管理指針(案)を提示した。国立特殊教育総合研究所の永峯博氏は腎疾患児の教育上の諸問題についてアンケート調査を行い、今回は特に家族との生活上の問題点について検討した。酒井氏は昭和52年3月に日本学校保健会が行っている学校保健センター的事業の中の腎疾患委員会(委員長:北川照男)によって作成された腎臓手帳の記載事項の一つである腎臓病の管理指導区分およびその目安について新たな案を提示した。また横浜市小児アレルギーセンター長坂裕博氏は血尿症例の運動処方に関するアンケート調査を行いその実態を明らかにした。同時に国立療養所西別府病院の古瀬昭夫氏は前年度までに得られた各研究協力者のデータに基づいて慢性腎疾患児における運動負荷の影響を調べ本年度予定されている管理基準に関する手引書の中の原案の一部を提示した。

本研究班の研究協力者は総勢14名(表参照)であるが各々が各個研究を行うと共に検尿システム研究グループ及び腎疾患児童生徒の生活指導、運動処方の研究グループ、いずれかに属し研究協力を行った。

研究報告の3年分を統合かつ再整理を行い最終年度の研究事業報告の出版物として医師向け、家族向けのマニュアル作成を行った。